

会報誌 「ちーたー」

創刊準備 第1号

(2013年1月26日発行)

若年認知症交流会小さな旅人たちの会開設準備会



若年認知症交流会小さな旅人たちの会（ちいたび会）
設立賛同者 各位

NPO 法人認証に向けた準備の状況についてご報告します。

■設立準備全般の状況

本会の設立については、多くの方から賛同を得られつつあり、現時点（1/26）で、正会員21名、賛助会員8名、登録会員（家族等）5名という状況となり、体制が整ってまいりました。また、手続き的にも、昨日（1/25）、東京都の担当部署に相談に行き、申請書について形式的には問題なしとの回答をいただきました。

今後、2/9の設立総会を経て、都への申請ということで進められそうです。

こうした状況を踏まえ、今後は、設立後に行う事業の具体的な準備という次のステップに進んでいきたいと考えています。

■設立総会の開催

2月9日（土曜日）に設立総会を開催します。総会は、会員のうち、正会員が出席者となります。今回の設立総会では、NPO法人設立に必要な、以下の議案について議決することを予定しています。既に正会員の皆様にはご通知しております。

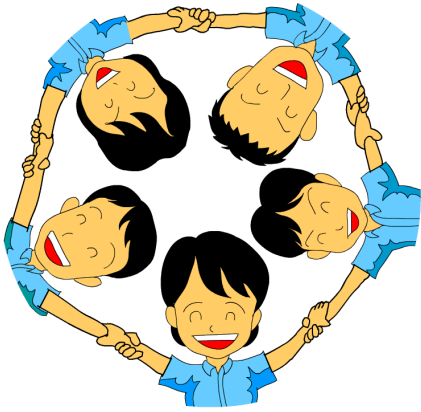
※ 正会員で出欠票未提出の方は至急ご提出をお願いします。（欠席の場合は、委任状あるいは書面表決行使書の提出をお願いします。）

「議題」

- (1) 第一号議案 会の設立について
- (2) 第二号議案 定款について
- (3) 第三号議案 設立当初の役員について
- (4) 第四号議案 設立当初の資産について
- (5) 第五号議案 事業計画及び活動予算について
- (6) 第六号議案 設立当初の入会金及び会費について
- (7) 第七号議案 確認書の確認について
- (8) 第八号議案 法人設立認証申請について

■家族交流会について

本会のメインの活動である家族交流会については、本人と家族と一緒に、あるいは家族のみの参加を想定しています。内容は、家族が日頃のことをお互いに話し合える交流の場と、本人の参加する回想法プログラムといったピアサポートの2つを組み合わせ提供することを基本に考えています。(季節に応じた企画もあり。)



交流会については、医療技術系、介護福祉系、社会福祉系の専門職、また、介護サポーターが上手に介在することが必須ですが、本会ではさらに、福祉、看護等を志す学生の参加を得て、これからの大きく変化する社会に対応できる人材育成の観点から、彼らのキャリア形成を支援することも大切にしたいと考えています。

現在、大学等との間で、その実現に向けた協力の可能性について調整を進めています。

家族交流会では、指導者の存在も重要な要素となりますが、20年以上認知症専門に携わり、家族会活動など地域との連携や専門職の研修、啓発事業にも取り組まれている高橋正彦医師（大倉山記念病院精神科・物忘れ外来 部長）が、本会家族会に可能な限り出席し、指導してくださることになりました。

○家族交流会の開催頻度など

交流会は隔月（年6回偶数月）に定期開催します。土曜日午後を予定。
ただし2013年中については、正式な事業開始日を8月に予定しているため、8月、10月、12月の3回実施となります。（6月にプレ実施を予定）

○家族交流会の詳細スケジュール（予定）

- '13 5月 スタッフ会議（講習：若年認知症、ピアサポートの進め方等）
- 6月 ○家族交流会プレ実施（内容：参加者交流主体）
- 7月 スタッフ会議（プレの振り返り、第1回交流会開催に向けて）
- 8月 ○第1回家族交流会の開催（内容：参加者交流主体）
- 9月 スタッフ会議（前回の振り返り、第2回交流会開催に向けて）
- 10月 ○第2回家族交流会の開催（内容：講演会）
- 11月 スタッフ会議（前回交流会の振り返り、旅行会実施、第3回交流会に向けて）
◇定期旅行会の実施（近県の温泉地への宿泊旅行を想定）
- 12月 ○第3回家族交流会の開催（内容：屋内イベント(Xmas会など))
- '14 1月 スタッフ会議（振り返り、新年会、第4回交流会開催に向けて）
- 2月 ○第4回家族交流会の開催（参加者交流主体）
- 3月 スタッフ会議（前回の振り返り、第5回開催に向けて）
◇2013年度の事業総括（事業報告書の作成等）
- 4月 ○第5回家族交流会の開催（屋外イベント(花見など))

■その他の働きかけなど

○交流会開催場所の確保について

交流会の開催場所について、参加する本人、家族の参加のしやすさを考慮し、中野駅周辺のバリアフリー施設を確保できるよう、今春以降に中野駅周辺で開校する大学（帝京平成大学、早稲田大学）、中野区医師会に相談をしています。

○地域社会の理解促進に向けて

現在、NHKで放映中の連続テレビ小説「純と愛」で、若年認知症に向き合う家族の姿が取り上げられているのをご存知でしょうか。

これまでも映画化されるなど（「明日の記憶」平成19年日本アカデミー賞優秀作品賞、出演：渡辺謙、樋口可南子ほか）、若年認知症は、以前よりも世間一般に知られるようになりました。

しかしながら、今回のテレビ放映に対する、インターネット上でのコメントを覗いてみると、以下のような発言も見受けられます。

「アルツハイマーってお年寄りの病気だと思ってましたが、今では40代50代でもかかるんですね。他人事ではないと思いました。」

「そうですね。最近だと若年性ってあるみたいですね。」

「今後、ドラマの中で出てくるでしょうね。若年性アルツハイマー、怖いです。」

知られるようにはなりましたが、若年認知症のことを理解する機会はまだまだ少ないのが現状です。マスコミ等が取り上げてくれることの意義を感じつつ、私たちとしても、この疾病に関する正しい情報を発信し、また、身近な地域に本人、家族が生活しているのだということを発信し続けていくことが必要なのだと思われまます。

その実現のため、準備会では、現在、区民への普及啓発に向けた取り組みについて地元の中野区医師会と相談を進めているほか、7月には設立記念講演会の開催を予定するなど、地域へ情報発信し、理解を促進する機会を確保すべく動いています。

■旅行に関する情報提供のお願い

ちいたび会では、「ともに集い共感できる場づくり」という交流会活動を基本としたうえで、ニーズはありながら自分たちだけでは実現が難しい心を休めるための機会、また新たな思い出をも創り出してくれる「旅」のお手伝いを、他にはない取り組みとして提供することを視野に入れていきます。

その実現には、理解ある受け入れ先の協力が必須となりますが、現在のところ、その確保ができていません。賛同者のみなさんの中で、以下の条件にかなう施設に心当たりがある方、または、知っていそうな人をご存知な方がいらっしゃいましたら、是非とも情報をお寄せください。



受け入れ先に望む条件は、以下のとおりです。

- 近県の温泉旅館、ホテル
(参加者の温泉へのこだわりは強い)
- みんなで集まる宴会場がある。
- 本人・家族参加の方は個室、家族のみ参加の方は一緒に話ができる相部屋、その双方を確保できる。
- 他のお客様への気遣いをしなくてもよい構造、あるいは、貸切りにできる施設
- 経営者の理解があり、仮に何かあっても、経営者の判断で対応ができる施設 (そういう意味で公共施設よりも民間の独立経営の施設の方が望ましい)
- バリアフリーについては、できればその方が良いが、サポーターも同伴するので完全なバリアフリーでなくても良い。



■今後のおもな予定

2013年2月中旬	NPO法人(特定非営利活動法人)申請
6月中旬	NPO法人認証
7月下旬	設立記念総会、設立記念講演会の開催
8月	第1回家族交流会の開催

※ NPO法人認証後、賛同者、関係者等に幅広くお声がけし、設立記念イベントを開催する予定です。その節には、改めてご案内いたします(7月下旬頃)。

次号は、2月9日の設立総会、同月中旬のNPO法人設立申請後に発行する予定です。お気づきの点などございましたら、お気軽に以下の事務局までご連絡ください。

〔発行責任者〕 若年認知症交流会小さな旅人たちの会(ちいたび会)
理事長 高橋 恵美子

〔編集責任者〕 高橋 昭彦

〔連絡先〕 Eメール: honbu@chiitabi.jp